

☆世 界

綿 花 **ポリエステルとの価格差広がる---5年連続へ**

CotlookA インデックス（綿花価格の指標）と中国のポリエステル価格は従来横並びであったが、2009～2010年に価格差が生じて以来、5年目となる今季もその傾向は変わらず、綿花価格は中国のポリエステル価格と比較して大幅高値で推移すると見られる。

2013年8月のCotlookAの平均価格はポンド当たり93セント、中国のポリエステルの平均価格はポンド当たり76セントであった。紡績産業のような薄利多売な産業では高い綿花は嫌われる傾向があり、今年も市場シェアは引き続き低下すると見られる。その一方、世界の綿花消費は増加しており、2013～14年の消費量は2,370万トに達する見込みである。

中国では綿花政策により国内綿花価格が高水準となり、その結果ミル消費量が低下する一方、その他諸国ではミル消費が大幅に促進された。

2013～14年の綿花生産は、米国における生産の大幅減（前年比25%減の90万ト）が影響して、前年比3.5%減の2,560万トになる見込みで、中国とウズベキスタンの生産は前年とほぼ同レベルが予測される。

輸入は、中国の輸入減が影響して約100万ト減の900万ト弱になる見込み。

輸出は、生産が増加したCFAフラン圏（アフリカの旧フランス植民地）を除いて落ち込み、その結果、綿花価格は上昇すると予測される。

2013～14年のCotlookAインデックスの平均価格は85～126セント/ポンドで推移する見込み。在庫量は2014年7月までに1,900万トになると予測される。2011～12年、2012～13年、2013～14年と、インド及びパキスタンにおけるミル消費量の予測が下方修正されたことにより、世界の期末在庫は上方修正されて供給過剰となった結果、CotlookAインデックスは弱含みとなった。

世界の綿花需給見通し (100万ト)

	2011/12	2012/13	2013/14
生産	27.81	26.48	25.55
消費	22.74	23.51	23.72
輸入	9.76	9.65	8.80
輸出	9.84	9.79	8.80
期末在庫	14.58	17.40	19.22
価格*	100	88.00*	103.00**

Cotlook A インデックス（セトボンド）価格は、中国を除く世界の在庫率の見通し、中国の綿花輸入見通し等をもとに推計した。

☆中国

繊維景況

好調な産業用繊維品業界---2013年上半期

9月6日、中国産業用繊維品協会の理事会が江蘇省阜寧県で開催された。同会合では、2013年上半期の業況分析、第12次五か年計画の中間評価、中国不織布10強企業等の審査会が行われた。阜寧県はフィルター産業を支柱産業としており、中国国家発展改革委員会、工業情報化部から、第十二次五カ年計画における産業用繊維品クラスターとして指定されている。

① 2013年上半期の業況

2013年1～7月、繊維産業の業況は、機械、石化業界に次ぐ成長率を示した。産業用繊維品は2桁成長を記録、繊維業界の成長を牽引した。

中国産業用繊維品協会による2013年上半期の産業用繊維品業界の業況は以下の通り。

- ・ 工業増加値の伸び率は14.4%、繊維業界のトップであった。
- ・ 規模以上企業の売上、利益はそれぞれ前年同期比18.83%増、23.4%増で前年同期の伸びを上回った。
- ・ 利益率は5.23%と前年同期比0.3ポイント増、赤字企業の欠損額は2.5億元、前年同期比7.74%減、収益は好転している。
- ・ 輸出は小幅増となり、コーテッドファブリック、医療・衛生用繊維製品、重布がトップ3品目となった。輸入は横ばいであった。
- ・ 2013年の生産量、生産額、企業の売上、利益など主要経済指標は2桁成長を維持、繊維業界全体の成長を牽引する見込み。
- ・ 産業用繊維製品業界では、医療・衛生、土木・建築、フィルター、皮革基布などの模範クラスターが10あるが、クラスター内の大型企業の生産、販売とも高い成長を維持している。2013年上半期にクラスター内の1,082社の調査研究を行ったところ、稼働率は93.2%、生産高、売上収入、利益はそれぞれ前年同期比24%増、25%増、9%増であった。

② 産業用繊維品業界の第12次五か年計画中間評価

中国紡織工業連合会の高勇副会長が中心となり、大学教授、地方政府の代表、専門家グループが、産業用繊維品の第12次五か年計画に関する

る意見交換を行った。高勇氏は、2013年は第12次五か年計画の中間年にあたるが、計画編成時と比べ、内外の環境変化に直面していることから、適度な調整が必要と指摘した。特に、原料問題が繊維産業の発展を制約するボトルネックとなっている点、繊維企業が二極化している点、中西部への産業移転の速度が想定より遅れている点などを踏まえ、調整が必要との見通しを示した。繊維産業は全体として、成長速度は緩やかになるものの、安定しながら発展する見通しであるが、産業用繊維品業界は発展の勃興段階にあり、高い成長が期待されると述べている。

③ 中国不織布10強企業の審査会

企業の規模と収益、設備、研究開発、イノベーション能力、市場開拓能力、ブランド力、省エネ・排出削減、社会責任などの点から審査が行われ、中国不織布10強企業、成長潜在力のある企業、優秀企業を選ぶ評価審査体制を整えた。この審査結果は10月に公表される。

(以上)